

◆フレッシュ名曲コンサート◆

ショパン & ムソルグスキー

Chopin & Mussorgsky

曲目

ショパン／ピアノ協奏曲第1番

ムソルグスキー／組曲「展覧会の絵」

野上真梨子

©YoshinobuFukaya
auraY2

広上淳一

©Greg Sailor

東京フィルハーモニー交響楽団 ©上野隆文

出演：広上淳一（指揮）／野上真梨子（ピアノ）／東京フィルハーモニー交響楽団（管弦楽）

2020年 3月8日 [日]
(令和2年)

15:00開演(14:30開場)

練馬文化センター大ホール

西武池袋線、西武有楽町線、都営地下鉄大江戸線「練馬駅」中央北口より徒歩1分

- チケット料金(全席指定) S席 3,800円 / A席 3,000円
- 練馬区文化振興協会友の会会員 S席 3,420円 / A席 2,700円(2枚まで)
- 学生券(25歳以下、要学生証提示)の取り扱い有 ※各料金の半額でお求めいただけます。
※他の割引サービスとの併用はできません。※詳しくはホームページまたはお問い合わせください。

- 主催：公益財団法人 練馬区文化振興協会 / 公益財団法人 東京都歴史文化財団(東京文化会館)
- 企画協力：東京オーケストラ事業協同組合
- 後援：一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ) / ポーランド広報文化センター

2019年9月23日(月・祝) 10:00～

電話・WEB予約開始(窓口販売は翌日より)

練馬文化センタープレイガイド

■予約電話(10:00～20:00)

TEL 03-3948-9000

■WEB <https://neribun.or.jp/> [要利用登録「無料」]

■練馬文化センター・大泉学園ゆめりあホール窓口(10:00～20:00)

※窓口販売は、9月24日(火)10:00から行います。なお予約初日に予定枚数終了した場合、取扱いは
ございません。※未就学児入場不可。※予約初日は座席をお選びいただけません。※車いす席、難聴者
イヤホンをご希望の方は、予約電話でお申し込みください。

【問合せ】公益財団法人 練馬区文化振興協会 TEL 03-3993-3311



練馬文化センターHP



PTNA



日本・ポーランド国交樹立
100周年記念事業



2002年青少年ショパン国際ピアノコンクール(ポーランド)にて、日本人初の第一位を獲得した野上真梨子が贈る、至極のショパン。そして、ムソルグスキーを代表する名曲「展覧会の絵」を心ゆくまでお楽しみください！



広 上 淳 一 (指揮) Junichi Hirokami

1958年東京生まれ、東京音大指揮科で学んだ広上淳一が「第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」に優勝したのは1984年9月、26歳の時であった。その審査員の1人だったピアニストのウラジミール・アシュケナージは広上を特に高く評価し、翌年ソリストとしてNHK交響楽団と協演した際には彼を指揮者に指名(広上のN響初協演)したほどである。86年以降、広上の世界への快進撃が始まり、フランス国立管弦楽団やベルリン放送交響楽団、コンサートヘボウ管弦楽団、モントリオール交響楽団、イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン交響楽団、ウィーン交響楽団などメジャーなオーケストラへの客演が展開されていった。91～95年にはノールショピング交響楽団(スウェーデン)の、98～2000年にリンブルク交響楽団(オランダ)の各首席指揮者を、97～2001年ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者を歴任、この間、91～2000年には日本フィルハーモニー交響楽団の正指揮者をつとめて、96年の欧州演奏旅行を指揮したほか、多くの瑞々しく壮大な快演を残した。近年では、ヴァンクーヴァー交響楽団、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ交響楽団、サンクトペテルブルク・フィルハーモニー交響楽団、ポルティモア交響楽団、シンシナティ交響楽団、カルガリー・フィルハーモニック、スタヴァンゲル交響楽団、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、ポーランド放送交響楽団、スロヴェニア・フィルハーモニー管弦楽団、サン・パウロ交響楽団等文字通り世界中のオーケストラへ客演。2006年7月からは米国のコロンバス交響楽団音楽監督に就任、初シーズン最後の定期演奏会では「マエストロとオーケストラによる神々しい演奏は、聴衆から信者たちを創造、広上の時代が始まった!」と絶賛された。2007年8月にはサイトウ・キネン・フェスティバル松本に招聘され、ハイドンとラフマニノフのプログラムで絶賛を博した。オペラの分野でも89、90年のシドニー歌劇場におけるヴェルディの《仮面舞踏会》や《リゴレット》が高く評価されたのをはじめ、最近では藤原歌劇団公演《椿姫》、関西二期会公演《フィガロの結婚》、日生劇場《後宮からの逃走》、《利口な女狐の物語》が記憶に新しい。2008年4月より京都市交響楽団常任指揮者に就任。多忙な指揮活動と平行して、母校東京音楽大学教授としても後進の育成に情熱を注いでいる。

野上 真 梨 子 (ピアノ) Mariko Nogami

千葉県出身。2002年青少年ショパン国際ピアノコンクール(ポーランド)日本人初の第1位。第61回全日本学生音楽コンクール高校の部東京大会第2位、全国大会第3位。第4回北本コンクール高校生部門第1位、ならびに全部門通じての《最優秀賞》を受賞。第6回ブルクハルト国際音楽コンクールピアノ部門第1位。第16回、第17回ショパン国際ピアノコンクール(ポーランド)ディプロマ。第1回いしかわ国際ピアノコンクール大学・一般部門金賞。第20回やちよ音楽コンクール第1位。ザルツブルク＝モーツァルト国際室内楽コンクール2014第3位。第5回野島稔・よこすかピアノコンクール第1位。アントン・ルービンシュタイン国際コンクール2017(ドイツ)第3位。アルトゥール・シュナーベルコンクール(ドイツ)第2位。2018年度ロームミュージックファンデーション奨励学生。これまでに、読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉等多数のオーケストラと共演。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部を共に首席で卒業。大学代表として皇居内の桃華楽堂での演奏会に出演。同大学研究科修了。下田幸二、高橋多佳子、野島稔、ビョルン・レーマンの各氏に師事。現在ベルリン芸術大学大学院に在籍。



東京フィルハーモニー交響楽団 (管弦楽) Tokyo Philharmonic Orchestra

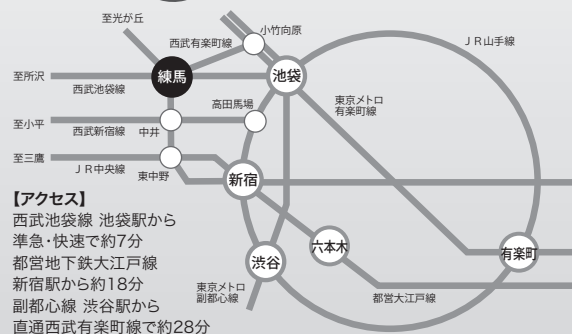
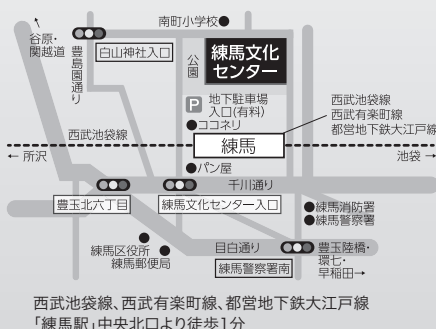
1911年創立。日本最古の歴史を誇り、メンバー約130名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督チョン・ミンフン、首席指揮者アンドレア・パツィニストニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフ。定期演奏会のほか「渋谷／平日／休日の午後のコンサート」等の自主公演、新国立劇場等でのオペラ・バレエ演奏、NHK『名曲アルバム』、テレビ東京『東急ジルベスターコンサート』などの放送演奏、各地学校等でのコンサート等により、全国のファンに親しまれる存在として高水準の演奏活動とさまざまな教育的活動を展開。海外公演も積極的に行い、国内外から高い

評価と注目を得ている。1989年からBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

◆フレッシュ名曲コンサート◆

ショパン Chopin & Mussorgsky
ムソルグスキー

2020年 (令和2年) 3月8日 [日]
15:00開演 (14:30開場)



2020年春、練馬区立美術館にて「ショパン—200年の肖像」展開催!!

ポーランドが誇る世界的ピアニストで作曲家のフレデリク・ショパン(1810～49)を再考する展覧会「ショパン—200年の肖像」を、2020年4月～6月にかけて練馬区立美術館にて開催します。本展は、自筆の楽譜や手紙、美術作品、資料などから、ショパンという芸術家の人間像と彼の創造した音楽を見つめなおすものです。展覧会に合わせて、美術館のほか、練馬文化センター、石神井公園ふるさと文化館にて、コンサートなど様々な関連イベントを開催します。